

科目名		授業形態	担当教員名	
身体障害評価学Ⅱ		演習・講義	石原 真奈美・嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
身体障害領域の作業療法評価の意義、目的、方法について学ぶ。具体的には記録・報告、面接法・観察法、意識、バイタルサイン、循環、代謝、体力、形態計測、感覚検査、脳神経検査、反射検査、姿勢反射検査について学ぶ。知識と技術の獲得と両者の統合を目指す。				
授業の到達目標				
1. 作業療法評価とは何かを説明できる。 2. 身体障害領域の作業療法評価で用いる検査・測定を列挙、説明、実施できる。 3. 評価結果を記録できる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、作業療法評価とは何か			
2	作業療法評価とは何か			
3	記録・報告			
4	面接法・観察法			
5	面接法・観察法			
6	意識、バイタルサイン、循環、代謝、体力			
7	意識、バイタルサイン、循環、代謝、体力			
8	意識、バイタルサイン、循環、代謝、体力			
9	形態計測、感覚検査、脳神経検査			
10	形態計測、感覚検査、脳神経検査			
11	形態計測、感覚検査、脳神経検査			
12	形態計測、感覚検査、脳神経検査			
13	反射検査、姿勢反射検査			
14	反射検査、姿勢反射検査			
15	反射検査、姿勢反射検査			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%			
レポート				
小テスト	30%	毎回の授業毎に前回の授業内容について小テストを行い評価する		
平常点	10%	提出課題の内容（予習・復習の内容）で評価する		
その他				
自由記載	再試験は筆記試験を100%として成績判定する			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準作業療法学 作業療法評価学 第3版	岩崎テル子 他編		医学書院	
神経診察クローズアップ 改訂第3版	鈴木則宏 編		メジカルビュー	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
予習が講義参加の前提である。提出課題を毎時間提出すること。				